

# 10大ニュース

## 2009年

7歳から88歳までの226人から、総数649件、68項目の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。



100周年のイベントとして初めて一般公開された遠野小表現活動「遠野の里の物語」

- 1 本田敏秋市長が再選 **86票**
- 2 遠野病院に新たな医師着任 **80票**
- 3 『遠野物語』発刊100周年事業スタート **58票**
- 3 めがね橋が恋人の聖地に認定される **58票**
- 5 新型インフルエンザが猛威をふるう **36票**
- 6 遠野わらすっこ「夢の教室」始まる **29票**
- 6 水木しげるさんが100周年記念ポスターをデザイン **29票**
- 8 2016年の国体少年サッカー会場に内定 **27票**
- 9 めがね橋と岩根橋が近代化産業遺産へ **22票**
- 10 材木町市営住宅「ゆめてらす遠野」完成 **18票**

### 賞品当選者(敬称略)

- ◆あえりあ遠野レストラン券(株遠野提供)  
柴又海斗(小友町)、佐藤芳子(宮守町宮守)
- ◆遠野の物産(株遠野ふるさと公社提供)  
菊池将騎(綾織町)、小水内タケ(穀町)、中館風花(附馬牛町)
- ◆たかむろ水光園入浴券(株遠野ふるさと公社提供)  
伊藤大智(松崎町)、菊池佳子(上郷町)、荒谷良(松崎町)
- ◆産直ともちゃんお買い物券(産直ともちゃん提供)  
金田ゆり子(東館町)、佐々木章(上郷町)、菊池由次郎(上郷町)
- ◆遠野テレビロゴ入りグッズ(株遠野テレビ提供)  
菊池ヤス(綾織町)、多田啓子(早瀬町)、小山ルミ(早瀬町)、中村美春(宮守町達首部)、滝沢寿子(上郷町)、太田友美(松崎町)、佐々木幸子(青笹町)、佐々木ツヤ子(宮守町宮守)、阿部大智(附馬牛町)

### 老朽化した機械器具を更新 災害に備え消防団活動を充実

消防機械器具配置式は12月22日、消防本部で行われました。消防団員など27人が出席し、本田敏秋市長から、配置する分団の代表者に配置書が交付されました。

消防機械器具は、市総合計画に基づき災害に強いまちづくりの構築を目的に老朽化した器具の更新を進めており、小型動力ポンプ積載車2台と小型動力ポンプ2台を整備。積載車は、第8分団第2部(上郷町細越地区)と第10分団

第4部(宮守町達首部中寄地区)に、小型ポンプは第2分団第4部(綾織町二日町地区)と第10分団第4部に配置され、消防防災活動に活用されます。本田市長は「災害は日ごろの備えが重要。配置した機械器具を有効に活用して鍛錬を重ね、有事には迅速な対応をお願いする」と、出席した消防団員らに一層の協力を呼び掛けました。

第8分団第2部の佐々木光政部長は「今回配備となった



今回新たに整備された小型動力ポンプ(手前)と小型動力ポンプ積載車

車は四輪駆動で、悪路でも活躍が期待できる」と、小型ポンプの交付を受けた第2分団第4部の昆克広部長は「以前の物はだいぶ老朽化が進んでいた。整備をしっかりとって大切に使用したい」と決意を新たにしていました。

### 選挙管理委員を選任

11月市議会臨時会は11月20日開かれ、選挙管理委員が議員の選挙で選ばれました。任期は平成21年11月25日から4年間。委員の皆さんを紹介します。(敬称略)

 <b>石直典高</b> (72歳、附馬牛町)	 <b>藤村正子</b> (70歳、東穀町)
 <b>菊池光康</b> (60歳、綾織町)	 <b>中村哲弘</b> (61歳、宮守町)



特区認定により、教育委員会所管の学校施設と、市が所管する福祉施設などの一体的管理が可能となる。写真は、新しい構想の下で建設が進む綾織小

### 総理大臣が市の特区を認定 施設の効率的な管理が可能に

市が検討を進めてきた構造改革特区計画「遠野市民センター・学びのプラットホーム特区」は11月26日、内閣総理大臣の認定を受けました。これは、学校施設や公民館など社会教育施設の管理・整備する権限を教育委員会から市長に移す特区制度が創設されたことに伴い、市が9月25日に申請していたもので、認定は全国で初めて。

特区認定により、これまで関係法令で教育委員会と市長部局とで管理の権限が異なっていた縦割りを解消し、少子化で増加する学校の空き教室などの遊休施設を福祉施設に活用できるなど、行政運営の一層の効率化や充実が期待されます。

市は今後、市議会に条例案を提案し、2010年4月から公民館などの社会教育施設16カ所、11年4月からは学校施設24カ所の施設管理を一元化して効率的な行財政運営を進めます。



本田敏秋市長(右)に発芽玄米の目録を手渡す戸館勇幸会長

### 栄養豊富な発芽玄米を寄附 市民の健康増進に大きな善意

市民の健康増進に役立ててほしいと、オリオン交易(本社神戸市、若村郷社長)から発芽玄米10ト(950万円相当)が寄贈されました。

発芽玄米は同社の子会社で、松崎町の「道の奥ファーム」(安藤五統雄社長が製造した遠野産米100%使用の商品「穂の華」)。

12月16日、オリオン交易の戸館勇幸会長と道の奥ファームの安藤社長が市役所を訪れ、本田市長に目録を手渡ししました。戸館会長は「発芽玄米は栄養が豊富。子どもからお年寄りまで、遠野の多くの家庭で食べてもらいたい」と話していました。

市では、寄贈された発芽玄米を市内の高齢者福祉施設などに配布したほか、学校給食

でも活用しています。また、市民や食生活改善グループのメンバーなどに無料で提供して、モニター調査を行う予定です。

### 遠野遺産19件を新たに認定 「地域の宝」を後世に伝える

第4回遠野遺産認定証交付式は12月17日、あえりあ遠野で行われ、新たに認定された19件と、追加認定された1件の遺産の代表者に本田敏秋市長から認定証が交付されました。応募のあった20件の遺産を、遠野遺産認定調査委員会(杉田盛彦委員長)が10月に書類審査と現地視察を実施。その結果を基に11月20日に本田市長に意見書を提出していました。

交付式には、遺産を推薦した7団体の代表者など30人が出席。認定証交付団体を代表して、宮守町新町自治振興会の八重樫正昇さんは「認定は地域の大きな喜び。貴重な遺産を後世に語り継ぎたい」と抱負を述べ、杉田委員長は「地域の遺産を『日本の宝』という意識で大切にしてほしい」と講評しました。

2007年度にスタートした遠野遺産の認定数は、今回で99件となりました。新たに認定(追加)された遺産は次のとおり。



本田市長(右)から認定証の交付を受ける、遠野遺産推薦団体の代表者

- 【綾織町】▽田屋の大杉▽長松寺のしだれ栗【小友町】▽角羅神社▽小友村道路元標▽追分の碑▽篠神社と松▽及川源次郎恒次の墓(認定第15号「外山開墾記念碑」)に追加認定【附馬牛町】▽早池峰 古の登山道【松崎町】▽村兵衛神社(金ヶ澤稲荷神社)▽阿曾沼公歴代の碑▽鯛鐘の碑▽清心尼公の碑▽太郎淵▽母也明神と巫女塚▽横田城跡および彼岸松と山桜▽駒木鹿子踊りと角助の墓【青笹町】▽八坂神社【上郷町】▽近江弥右衛門の墓【宮守町】▽砥森神社五輪塔(本宮五輪塔)▽鹿込小学校跡地のイロハモミジと二宮金次郎像▽めがね橋周辺の景観